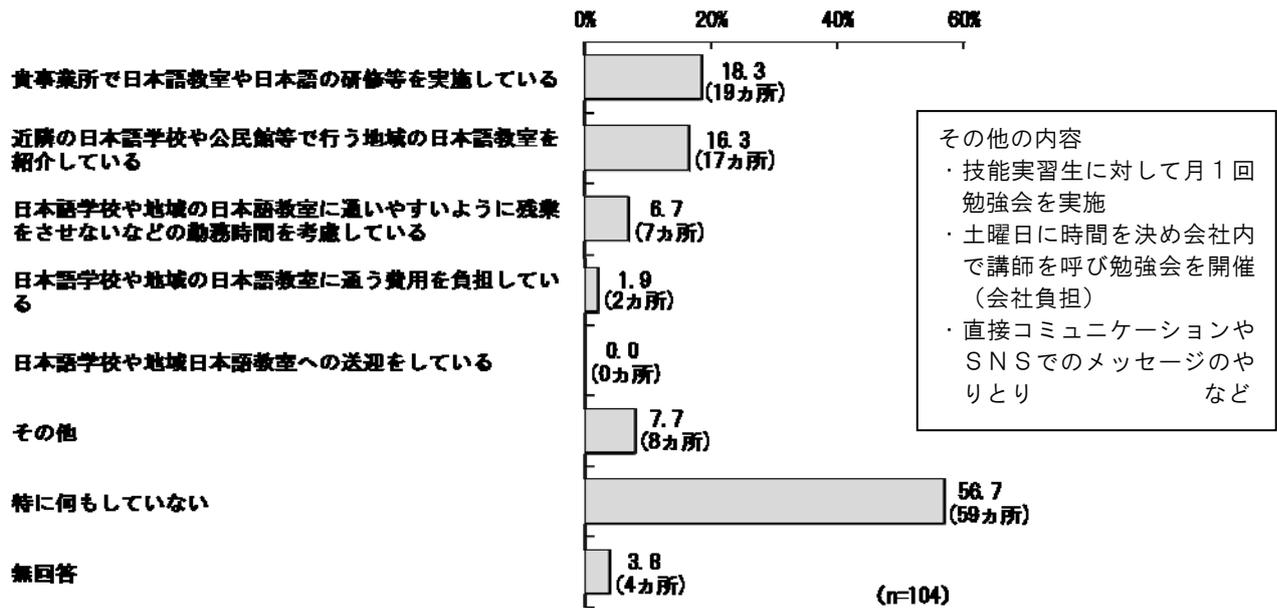


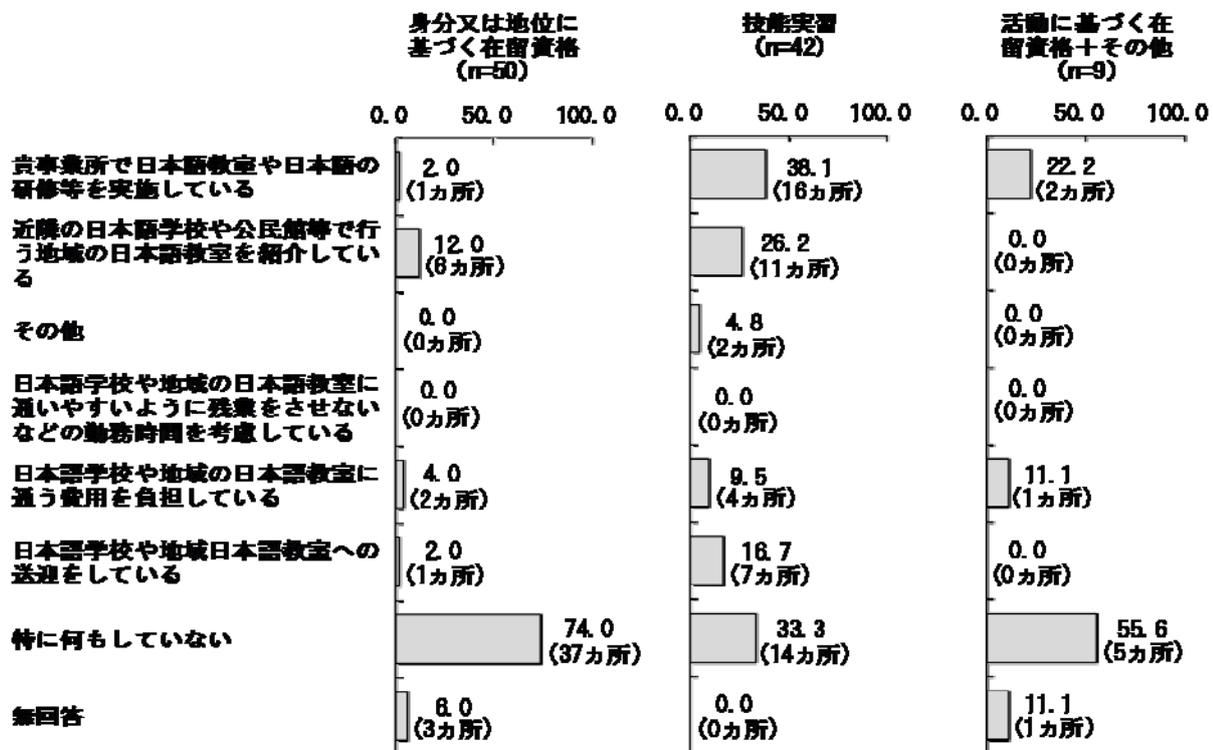
10 日本語学習が必要な外国人に対する支援状況

問10 貴事業所で働く日本語学習が必要な外国人に対して、日本語学習の支援をしていますか。
 (あてはまる番号全てに○)



日本語学習が必要な外国人に対する支援状況においては、「特に何もしていない」が56.7%と最も多く、次いで「貴事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している」が18.3%、「近隣の日本語学校や公民館等で行う地域の日本語教室を紹介している」が16.3%などとなっています。

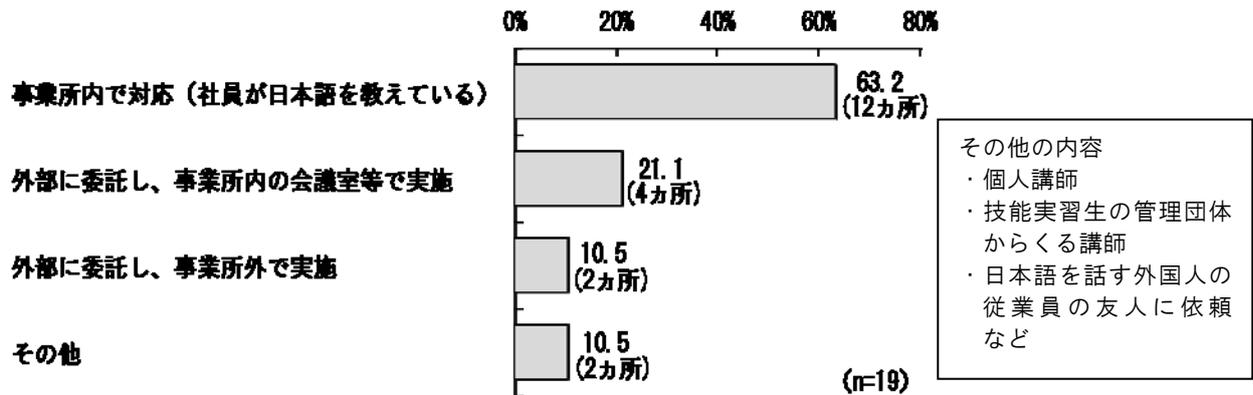
<在留資格(身分/活動)別>



最も雇用数の多い在留資格(身分/活動)別にみると、『身分又は地位に基づく在留資格』では「特に何もしていない」が74.0%で最も多くなっています。一方、『技能実習』では「貴事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している」が38.1%など、約7割で何らかの支援を実施しています。

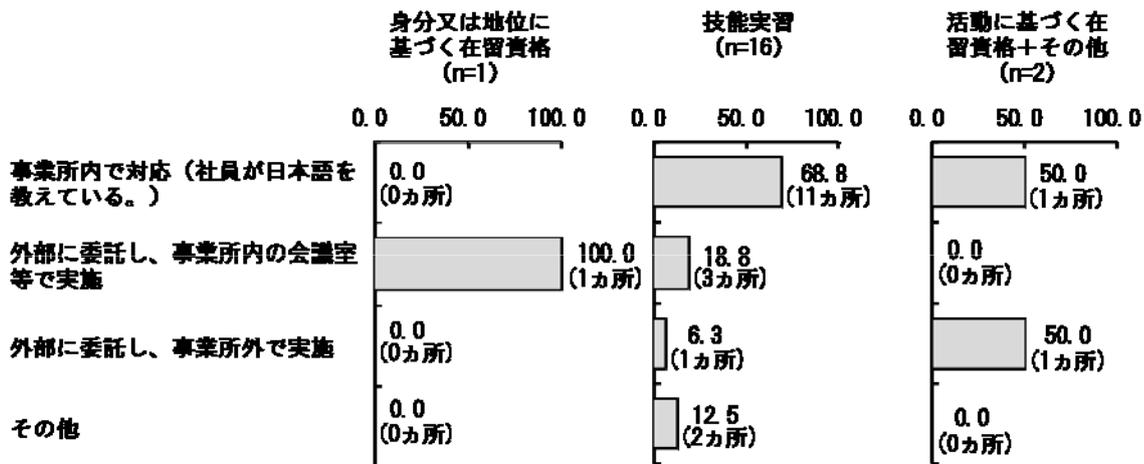
問10で「1 貴事業所で日本語教室や日本語の研修等を実施している」と回答した方にお聞きします。

問10-1 貴事業所の日本語教室や日本語の研修（以下、「日本語教室等」といいます。）は、どのように実施していますか。（あてはまる番号全てに○）



日本語教室や日本語の研修の実施方法においては、「事業所内で対応（社員が日本語を教えている）」が63.2%と最も多く、次いで「外部に委託し、事業所内の会議室等で実施」が21.1%、「外部に委託し、事業所外で実施」が10.5%などとなっています。

<在留資格（身分／活動）別>



在留資格（身分／活動）別にみると、『技能実習』では「事業所内で対応（社員が日本語を教えている）」が68.8%（11カ所）で最も多くなっています。次いで「外部に委託し、事業所内の会議室等で実施」が18.8%（3カ所）となっています。

問10-2 日本語教室等の実施回数、曜日、時間、1回あたりの平均参加人数、実施内容を教えてください。

<曜日・時間（抜粋）>

- ・ 毎木曜、1回2時間
- ・ 木曜、2時間位
- ・ 月・金、各4時間

<実施内容（抜粋）>

- ・ 日本語能力試験問題
- ・ 教材を使用するのレッスン（日本語、生活）
- ・ 小説を読ませて解らない言葉を教える
- ・ 日本語初級レベル
- ・ 日常生活の仕方、日本語の読み書き、文法
- ・ 漢字ドリル（小学生レベル）を使用して読み書きの練習

11 日本語教室等で実施している特徴的な取組

問10-3 貴事業所で実施している日本語教室等で特徴的な取組があれば教えてください。

（自由記述・抜粋）

- ・ 現在日本に留学中の大学生（中国人）から日本人従業員向に中国語、中国人従業員向に日本語と日本での生活、習慣などについて教えていただいている。
- ・ 小説を読ませる、一緒に食事をする。
- ・ 毎回会社負担で日本語能力試験受験（実習生のみ）
- ・ 基本的な日本語は理解している為、専門用語などについて教育している。
- ・ 日本語能力試験に向けて問題集だけでなく独自のテキストなど作成して運営している。

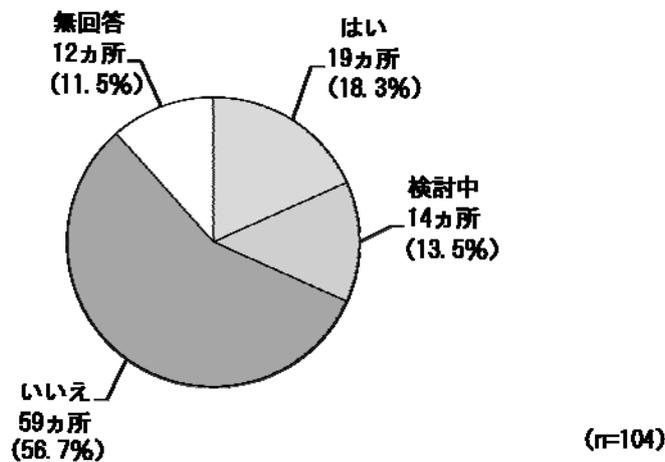
12 日本語教室を実施した際に苦労したこと・問題・課題

問10-4 貴事業所で日本語教室を実施した際に苦労したことや問題になったこと、課題があれば教えてください。（自由記述・抜粋）

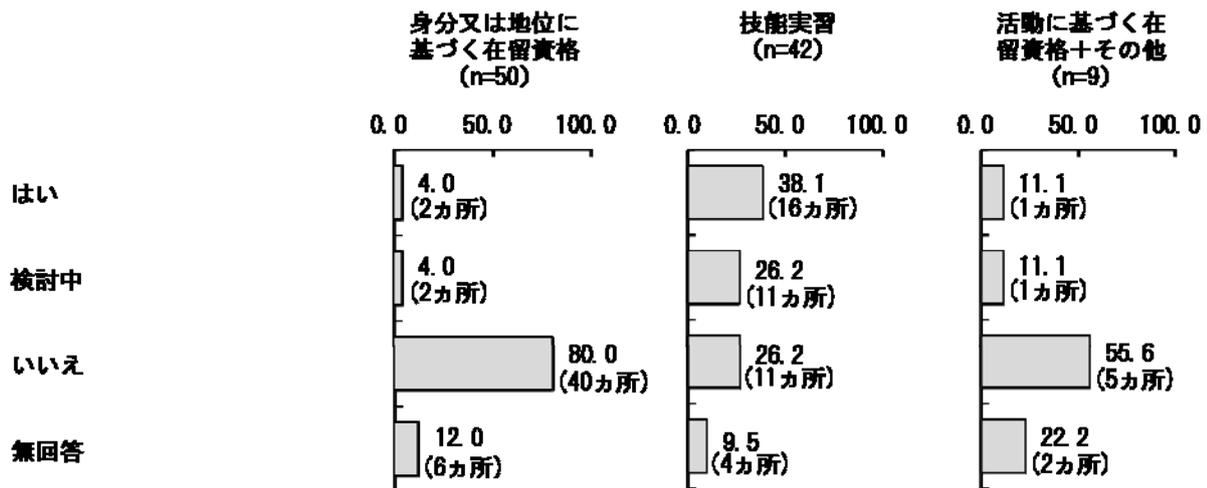
- ・ 当事業の業界用語の説明が通訳・アプリでは伝えられない。
- ・ 繁忙期での日本語教室の実施
- ・ 受講者で出席を拒否する方がいる事
- ・ 本人が学ぶ気持が弱くなった時
- ・ どうしても個人差が出てくる。
- ・ 個々のレベルがバラバラなので、全員同じ時間帯での日本語教育は難しいと感じた。

13 日本語教育を実施していく予定の有無

問11 今後、貴事業所で日本語教育を実施していく（既に実施している事業所については、継続する）予定ですか。その理由も併せてお聞かせください。



<在留資格（身分／活動）別>



日本語教育を実施していく予定の有無においては、「はい」が19カ所（18.3%）、「検討中」が14カ所（13.5%）、「いいえ」が59カ所（56.7%）となっています。

在留資格（身分／活動）別にみると、『身分又は地位に基づく在留資格』では「いいえ」が80.0%（40カ所）で最も多くなっています。一方、『技能実習』では「はい」が38.1%（16カ所）、「検討中」が26.2%（11カ所）と、半数の事業所が前向きに検討しています。

<今後の実施予定に関する理由（抜粋）>

● 「はい」と回答した理由

- ・ 長期間働いてもらいたい
- ・ 業務に必要な言葉は理解してもらいたいから
- ・ お互いスムーズなコミュニケーションが必要なので

● 「検討中」と回答した理由

- ・ 今後外国人の採用が増える可能性があるため
- ・ 時間的・金銭的成本
- ・ 日本語のレベルで就業先が限定されるため

● 「いいえ」と回答した理由

- ・ 実施するほど外国人を雇用していない
- ・ 既にある程度読み書きできる人を雇用している為
- ・ 教える人材がない、時間がとれない

14 日本語教育を実施（継続）するために必要な支援

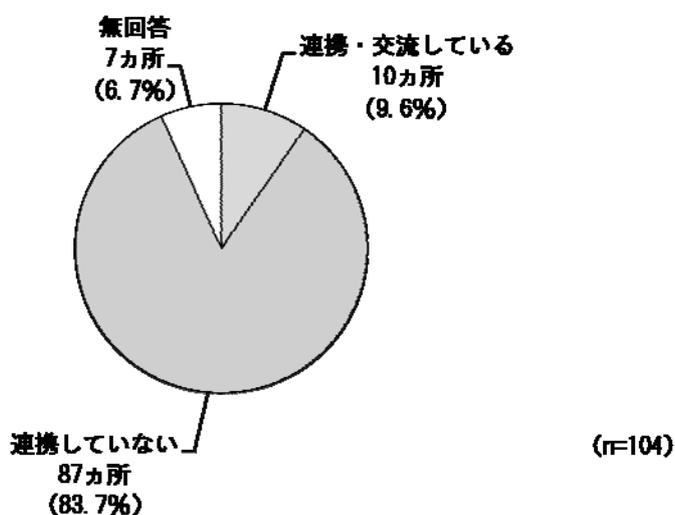
問11で「2 検討中」「3 いいえ」と回答した方にお聞きします。

問11-1 貴事業所で日本語教育を実施するためには、どのような支援が必要だと感じますか。
（自由記述・抜粋）

- ・ 人員確保による、教育時間の捻出
- ・ 日本語指導者の紹介等
- ・ 行政の日本語指導者による講座など
- ・ 住居の近くでの地方公共団体が主催するなど無料又は低価格の日本語教室の開催
- ・ 会社内で行える日本語教育の提案
- ・ なるべく費用の発生しない日本語教室の開催

15 他の団体との連携、交流状況

問12 日本語教育に関して他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語教室等）と連携、交流を行なっていますか。



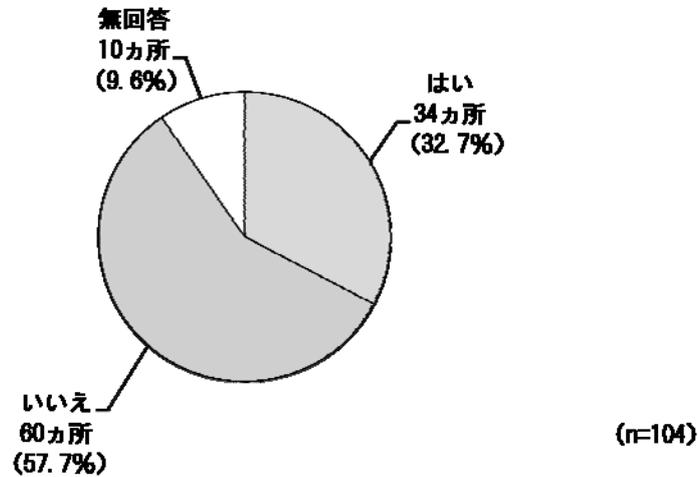
連携・交流先	
国際交流協会	4カ所
NPO・ボランティア団体等	2カ所
日本語教室	1カ所
日本語学校	1カ所
監理団体	1カ所

連携・交流内容	
就職受入	1カ所
技能検定試験時の教育	1カ所
試験の受験、合格状況の共有	1カ所
講師受け入れ	1カ所

他の団体との連携、交流状況においては、「連携・交流している」が10カ所（9.6%）、「連携していない」が87カ所（83.7%）となっています。

16 他の団体との連携や交流の意向

問13 日本語教育に関して、他の団体（県、市町、国際交流協会、企業、大学、NPO、日本語教室等）の情報があれば、積極的に活用し、連携や交流をしたいと思いませんか。また、その理由をお聞かせください。



<他団体との連携・交流の意向に関する理由（抜粋）>

● 「はい」と回答した理由

- ・ 情報が多いほど選択肢が増える
- ・ 職場、地域での連携・交流のため
- ・ 同郷同士の交流でストレスの発散等ができればよいと思う

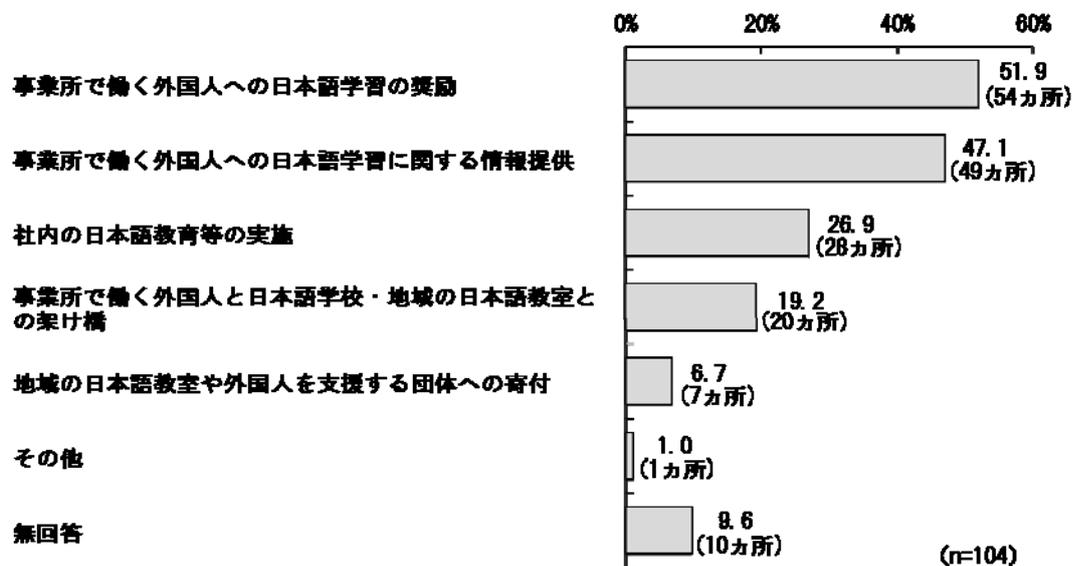
● 「いいえ」と回答した理由

- ・ 業務負担が多くなる
- ・ 個人の意志に任せるので積極的には活用しない
- ・ 勤務シフトとの調整が困難

他の団体との連携や交流の意向においては、「はい」が34カ所(32.7%)、「いいえ」が60カ所(57.7%)となっています。

17 外国人が働く事業所が日本語教育に対して果たすべき役割

問14 外国人が働く事業所は、日本語教育に対してどのような役割を果たすべきだと思われるか。(あてはまる番号全てに○)

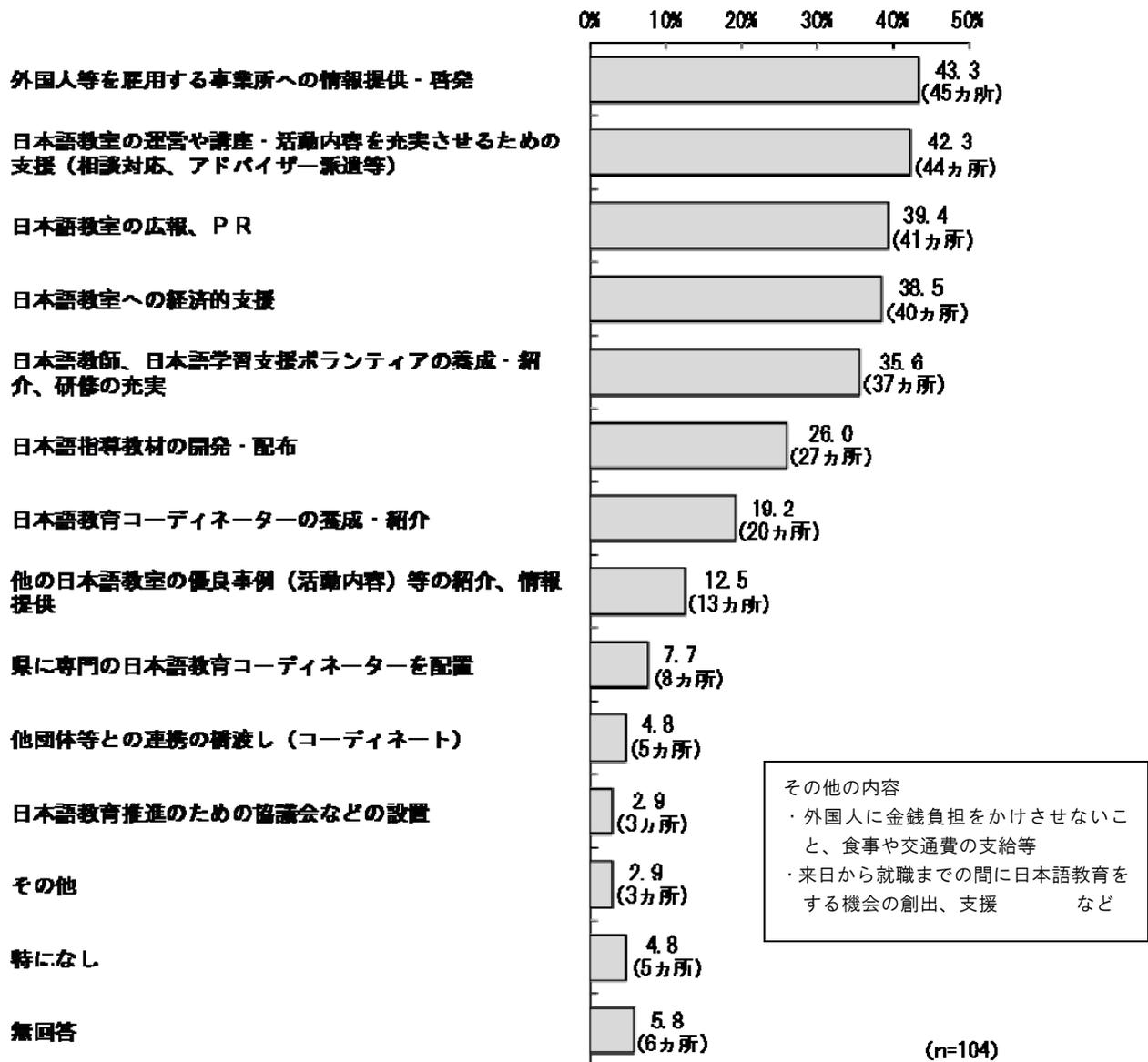


外国人が働く事業所が日本語教育に対して果たすべき役割においては、「事業所で働く外国人への日本語学習の奨励」が51.9%と最も多く、次いで「事業所で働く外国人への日本語学習に関する情報提供」が47.1%、「社内の日本語教育等の実施」が26.9%などとなっています。

18 県が実施すべき地域の日本語教育にかかる施策

問15 今後、県は地域の日本語教育にかかるどのような施策を実施すべきだと思いますか。

(あてはまる番号全てに○)

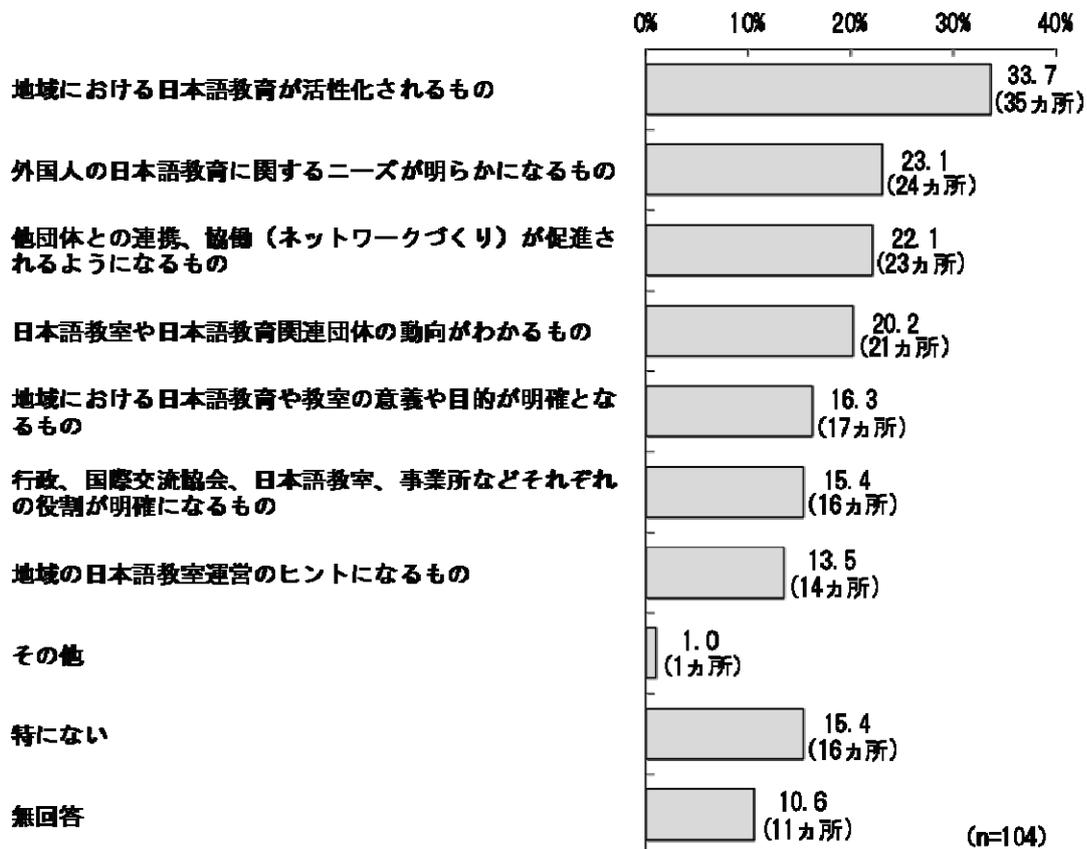


県が実施すべき地域の日本語教育にかかる施策においては、「外国人等を雇用する事業所への情報提供・啓発」が43.3%と最も多く、次いで「日本語教室の運営や講座・活動内容を充実させるための支援（相談対応、アドバイザー派遣等）」が42.3%、「日本語教室の広報、PR」が39.4%などとなっています。

19 静岡県における日本語教育の方針・計画策定に期待すること

問16 静岡県における日本語教育の方針・計画策定に期待することは何ですか。

(あてはまる番号全てに○)



静岡県における日本語教育の方針・計画策定に期待することにおいては、「地域における日本語教育が活性化されるもの」が33.7%と最も多く、次いで「外国人の日本語教育に関するニーズが明らかになるもの」が23.1%、「他団体との連携、協働（ネットワークづくり）が促進されるようになるもの」が22.1%などとなっています。